

第5回 可児とうのう病院地域連絡協議会 議事概要

- 【日 時】 平成28年8月4日（木） 16時00分～17時00分
- 【場 所】 独立行政法人地域医療機能推進機構 可児とうのう病院 講義室（大）
- 【議 題】 1. 当院の概況等について
2. 自由討議
- 【出席者】 熊谷 豊一 （医師会／可児医師会長）
鷹尾 明 （行政・県／可茂保健所長）
富田 成輝 （行政・市／可児市長）
伊藤 浩一 （利用者／自治会長）
三宅 秀治 （利用者／自治会副会長）
岩崎 透 （利用者／自治会副会長・代理）
岸田 喜彦 （院長）
岩田 敬和 （副院長）
福井 是子 （看護部長）
奥村 明人 （事務部長）
尾石 紀之 （副施設長）

【概 要】

1. 当院の概況等について

（パワーポイントを使用し、病院の沿革、JCHOの使命・組織、病院の概要、当院の27、28年度の推移、附属介護老人保健施設、健康管理センター、附属訪問看護ステーション、地域包括システムについて説明）

（利用者）

- ① 私は地元で育ってきたが、父が脳出血で倒れた時この病院に入院し、県立多治見病院へ転院となり、手術をしてこの病院へ戻ってきました。今の脳神経外科の状況はどうですか。

⇒ 脳神経外科は7年前までは常勤医がいて、ここで手術も行っていました。やはり医療崩壊等で波が押し寄せた一環として、脳神経外科医の常勤が置けなくなったということで引き上げになった。外来も無くなりそうだったので、何とか繋ぎ止めたのですが、常勤の復活は今でもなかなか難しい課題です。

（利用者）

- ② 私たちが高齢になってきて一番心配することは、脳梗塞です。友達がどこかのゴルフ場で倒れたり、周りに脳梗塞を発症した人が多くいたりして、健康であっ

たものが、脳梗塞で一気に身体障害者みたいになって動けなくなってしまう。発見から手術までの時間がいかに短くできるかが勝負であると、テレビで言っていました。可児市の場合は、脳神経外科が整備されていないので、何とかしてもらいたい。

⇒ そのようなご意見を言っていただく場でもありますので承りますが、努力はしておりますが、なかなか結果がでないということと、いつまで、どうなればと言われましたが、先が見えない。事情としては私も状況は分かっていますので、どうすれば良いということではなくて、ここだけの問題ではない。医療連携で何とか速やかに可能な施設へ行っていただくような手配はこちらで努力しますが、全てここで完結することは非常に難しいです。20年前にはそのような形を目指してほぼ常勤医がいた時代がありました。医療の質とか医療安全とかでいろんな要素があって、あの頃の時代とは性質が変わっていますので、同じようなケアは難しいと思います。

(行政・市)

⇒ 頑張れるものならどれだけでも頑張りたいのですが、結局は担当する医師が不足というよりも一部の大病院へ医師が集中している。院長と一緒に名大等をお願いに行くのですが、なかなか難しい。

現実には院長が言われたように、可児はまあまあ恵まれている。可児市だけで考えると確かに大変ですが、木沢病院、県立多治見病院、可児とうのう病院と道路もまあまあ整備されていますし、他の地域からみますと市内ではないですが、すぐ近くに大きな病院があります。多治見市民病院も30分ぐらいで行けますし、他の地域から比べれば何とか我慢できる範囲ではないかと思えます。他の過疎地域から比べればずいぶん良いので、希望は希望として医師に来ていただくよう努力はしますが、可児とうのう病院には違う部分でニーズがありますので、高齢化に伴うそちらの役割を果たしながら一緒になって、医師が少しでも来ていただけるよう努力していきたい。大変難しいですが。

⇒ いろんな会で、やはり医師不足が言われております。市長が言われましたように、役割というのが、今何ができるのかが大事であり、今の中では、これ以上は縮小がないように努力をする。最大限努力をしていかなければならないし、最低限維持をしなければならぬ。その中で先程から出ている地域包括ということを見ながら、十分な機能はまだしていませんが、先程から申し上げているように、病院の中で老健や訪問看護ステーションを持っていることは、この規模の地域では強みであるのでそれを生かしていき、可児医師会の先生方にもご協力いただけますので、そういう意味では強力でできるのではないかと考えています。どなたも希望としては少しでも機能が強い施設で受診したいのは当たり前で、ど

こかの院長が、高島屋は名古屋にあれば良いのでうちの地域で高島屋はいらない、アピタがあれば良いと言われた方がありましたが、そういうことが現実であります。住民の方々は、そこでなんでも買える物があればそれにこしたことはないが、現実的ではない。先程から話がありますが、当院としては今出来ることを最大限努力してやっていくことが、まず第一と考えています。私が就任してから、以前のように少しでも復活できるようにとの希望は捨てていませんし、その努力は惜しんでいないつもりですが、なかなか先が見えない状況です。

(行政・県)

- ③ 病院の機能という意味で、高度な機能を抱える病院が近くにあれば理想ですが、なかなかそのようにはいかないようになってきている。大学の研修医の縮減、急性期を得たいということが多くて、そこに集約が集中するのでいけないだろうということで、厚生労働省は保健所が関与して地域の医療を確保しろと言っています。その一環としてみなさんは詳しくないかもしれませんが、専門医という制度がありますが、人事を含めた研修ができていくと思いますので、29年度から一箇所、チーム研修させてた後で地域派遣する。もうしばらくの我慢とっています。特に可児とうのう病院は、岐阜社会保険病院時代から地域に密着した医療をとおっしゃっていましたが、まさにその通りだと思います。こういう病院を強化していかなければいけないと思っています。現状は厳しい状況かと思いますが、もう2～3年経てば状況も変わって行くのではないかと考えております。

⇒ ありがとうございます。

(利用者)

- ④ 20年来、耳鼻咽喉科へ掛かっていました。外来の耳鼻咽喉科は一時期やっていない時期がありましたが、今はいかがでしょうか。病院に来て耳鼻咽喉科がやっていないことがあり、その情報が周知されていなかったことがありました。

⇒ 7～8年前は、週1日ぐらいしか医師がいなかった時がありました。現在は、毎日外来を行っています。申し訳ないと思いますが、医師が急激に減った科がありました。あまり言いたくないですが、皮膚科は今そう状況になっています。熊谷先生のところでやっていただいています。皮膚科医師はそう多くないです。皮膚科の資格を持った先生方は沢山おられますが、仕事をされる方は少ないです。その当時、耳鼻咽喉科は、おそらく二人いて、午前、午後とやっていた時代がありました。

(利用者)

- ⑤ できるだけ良い先生にやっていただくことと、無くなった科の先生の確保の努

力をお願いしたい。

⇒引き続き、医師確保に努力します。

2. 自由討議

(利用者)

- ① 午前中に病院に来させていただきましたが、外国人の方が多く見えました。病院としては、言葉的にどのような対応をしているのですか。

⇒ 常勤ではないですが、通訳の方に来ていただいていますので、少し待っていただく場合もありますが、対応しております。診療、手術等の説明は、時間を決めて対応しております。以前はブラジル系の方が多かったですが、最近はフィリピン系の方が多いです。

(医師会)

- ② 医師会は看護学校を持っております。可児とうのう病院にお世話になって、人材の育成に力をいただき、実習病院としての機能を果たしていただいております。この病院が充実するということは、看護師の養成、医療従事者の充実に繋がることだから、そのような意味でも是非とも自分たちもバックアップしながら、実習病院としての可児とうのう病院という形をもっと強力にしたいと思っています。ところで医療ですが、医者が足りないことばかりではないのです。医療従事者、看護師等も関わっている。例えば、私が関係あります特養では、ショートステイは閉鎖をしている。十分にやれるはずですが、看護師が不足して閉鎖している。もったいないことで、入りたい人はいくらでもいる。看護師が不足して出来ない。募集はしているが看護師が集まらないから出来ないと聞いています。看護師の養成に力を入れていますが、看護師は若い人です。もし、タウンワークが盛んになれば、若い人がもっと増えてくるわけですし、可児市にとってもその方たちが残ってくればありがたいことです。私どもの看護学校の宣伝をしますと、優秀なのです。ずっと資格試験は全員合格しておりますし、県の監査がありました。しっかりやっておりますのでびっくりしていました。その陰では、可児とうのう病院の指導があるからだと思います。可児とうのう病院が充実することが、我々も維持出来ることになりまして、訪問看護ステーションを始め、地域の医療を充実させるためには、可児とうのう病院に地域の中核なる機能を持たせないといけないと思っております。

⇒ 今の看護学校のお話ですが、当院としても実習にきていただいた方々が、実習

のことを覚えていていただいて、数年後に戻ってきていただいた方が何人もいらっしゃいます。本当にありがたいことですし、大切なことですので、そういったことで、教育の一環として看護部の指導があったりします。医師会には、小児科のことをご迷惑をお掛けしていましたが、引続き協力体制を維持していきたいと思っておりますので、またお願いしたいと思っております。

(終了 17:00)